

平成 23 年 1 月～3 月事業報告

一般財団雇用開発センター

【概要】

一般財団法人への移行に伴い、最初の事業年度は、平成 23 年 1 月 4 日から同 23 年 3 月 31 日までのおよそ 3 ヶ月間となった。このため新たな事業を開始せず、平成 22 年度事業を継続する形となった。

一般財団への移行に伴い、事業は「実施事業（継続事業）」「その他事業（収益事業）」に別かれる。「実施事業（継続事業）」によって公益目的財産額（平成 23 年 1 月 4 日現在 477,150,783 円）相当額を支出して行く。「実施事業（継続事業）」に該当する事業は、「ひらく・ナビ（インターネット）事業」「じぶん計画（出版）事業」「調査・研究事業」となる。

「その他事業（収益事業）」は、新たに資産をつくるための事業で、「インターネット就労支援事業」「じぶん計画ダイジェスト版事業」「学校・企業提携事業」を予定、1～3 月では、「じぶん計画ダイジェスト版事業」として、冊子「自分で動く就職」の販売を行った。

【実施事業（継続事業）】

I. ひらく・ナビ（インターネット）事業

1. 各サイトの改修・管理

介護の仕事の内容・待遇などを、就業者の体験レポートを通して紹介するページの充実を図った。また、

- ・トピックス・ニュースの更新
- ・リンク先の追加等サイト管理

を行った。

ひらく・ナビサイトへのアクセス数は着実に増加しているが、今後サイト滞在時間、ページビューの増加を図る工夫をしたい。

II. じぶん計画事業

1. 「20 歳からのじぶん計画（仮称）」の出版準備

「ひらく・ナビ 20」と連動した出版として、就職、進学を控えた高校生、大学生、ならびに 10 代後半から 20 代の若年者向けに、働き方の選択、雇用環境、仕事の探し方、雇用保険など社会保障制度、扶助制度の仕組みや手続きの方法をまとめた書籍（「20 歳からのじぶん計画（仮称）の企画検討を行った。

出版は計画では 6 月を予定していたが、8 月もしくは 9 月となる。

Ⅲ. 調査・研究事業

調査・研究事業として、これから職業生活に入っていく学生を対象に、卒業後の就労見通しや就職活動状況の調査を行った。調査から、非常に厳しい就職状況が浮き彫りになった。調査結果をまとめた冊子を作成している。

【その他事業（収益事業）】

I. じぶん計画ダイジェスト版事業

「20歳からのじぶん計画（仮称）」の発行に先立ち、大学・短大・専修学校の新卒就職予定者に向け、就職活動の注意点、就職できなかったときの対処法、早期退職したときの就職活動の方法、などについてまとめた「自分で動く就職」を昨年11月に刊行、販売活動を行った。1～3月で約6千2百部を販売した。

【事業推進態勢】

I. 外部スタッフの強化

サイト、出版の事業を推進するため外部スタッフの増強を行った。

II. 取次口座の開設

トーハン、日版との取引が可能となり、「自分で動く就職」の生協、書店での販売に向けて準備を行った。

以上